

## 丸山の火山活動解説資料（平成 23 年 9 月）

札幌管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・ 噴気などの表面現象及び火口の熱の状況（図 1～4）

26日に北海道開発局の協力を得て、上空からの観測を実施しました。目視による観測では、北西斜面に位置する火口列（第1火口、第2火口及び第3火口）に噴気は認められませんでした。また、赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測では、第3火口内に弱い地熱域が認められましたが、これまでの観測結果と比べ特段の変化はありませんでした。

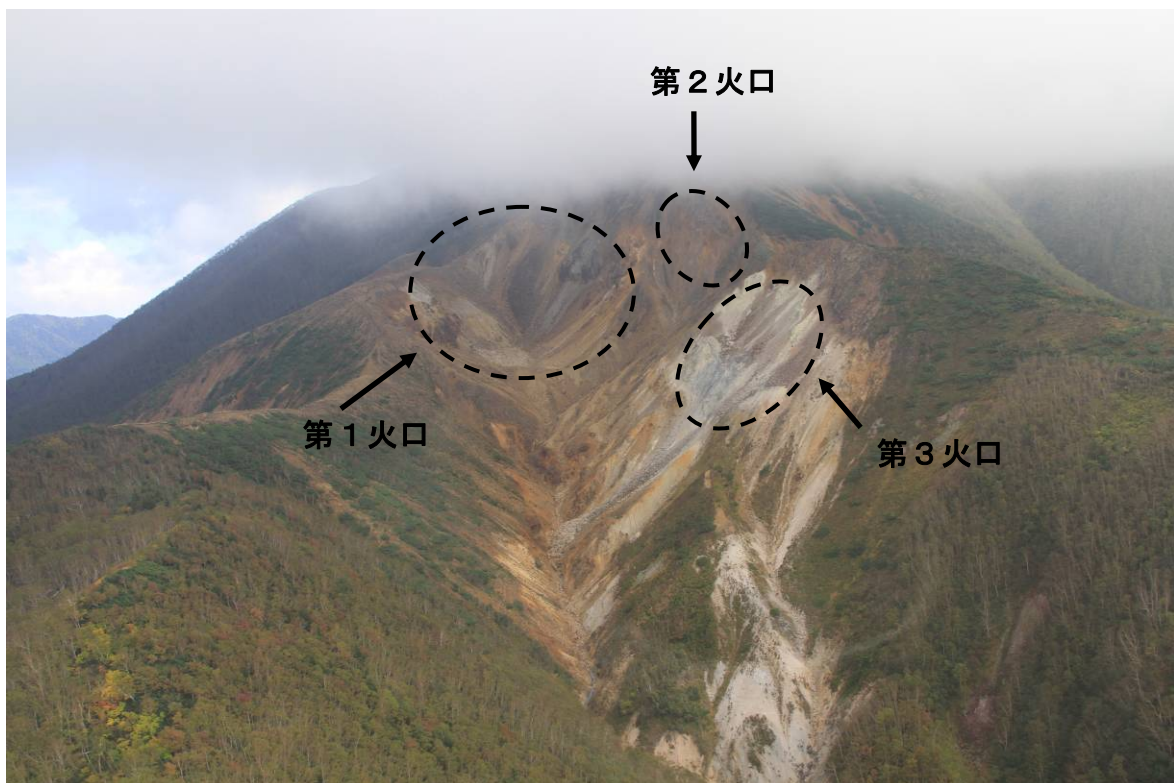


図 1 丸山 山頂北西側に位置する火口列の状況  
(図 2 の矢印①北西方向から撮影 北海道開発局の協力による)

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『数値地図 50000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

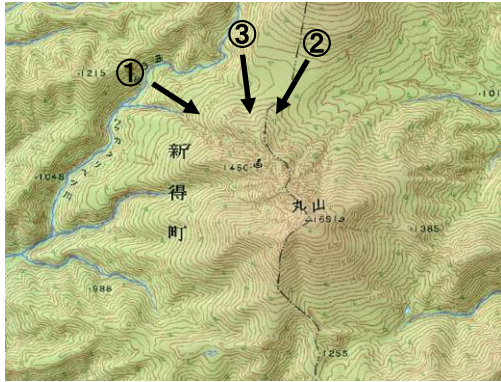


図 2 丸山 周辺図  
（矢印は赤外熱映像の撮影方向）

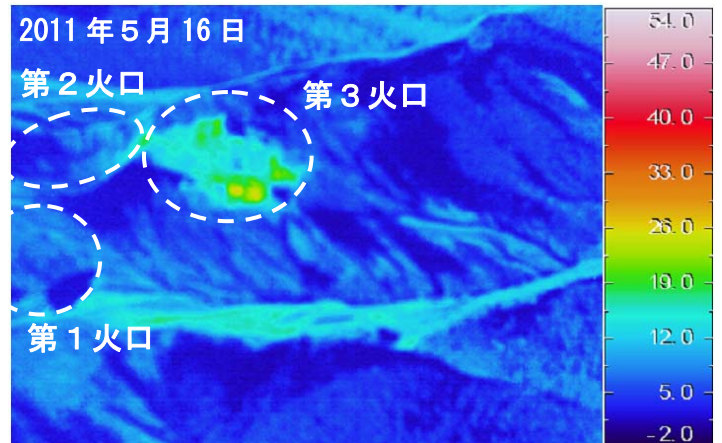


図 3 丸山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による山頂北西側に位置する火口列の地表面温度分布  
（図 2 の矢印②方向から撮影 北海道開発局の協力による）

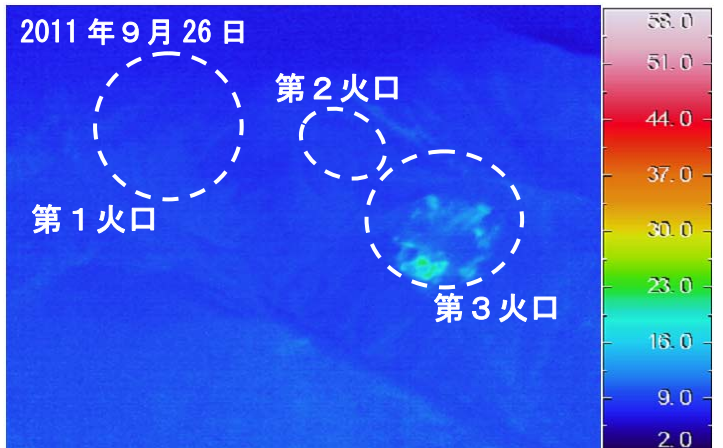


図 4 丸山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による山頂北西側に位置する火口列の地表面温度分布  
（図 2 の矢印③方向から撮影 北海道開発局の協力による）

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。